



今月新しく入りました。

●一般の本

／打たれ強い心をつくる空海のコトバ (作＝植西 聰)／桜ほうさら (作＝宮部みゆき)／沈黙の町で (作＝奥田英朗)／ローカル線で行こう！ (作＝真保裕一)／さきちゃんたちの夜 (作＝よしもと ばなな)／なでし子物語 (作＝伊吹有喜)

●子どもの本

／まほうのカメラ (作＝木曾秀夫)／からすのおかしやさん (作＝かこ さとし)／ばななせんせい (作＝得田之久)／つんつくせんせいといたずらぶんぶん (作＝たかどの ほうこ)／ガッタンポッピー (作＝冬野いちこ)／あたし、ようせいにあいたい！ (作＝のぶみ)

中でもこの本がオススメです。

沈黙のひと

作＝小池真理子



「私」が幼い頃に家を出て、新しい家族を持った父は、晩年パーキンソン病を患い、最後は口を利くこともできずに亡くなった。遺された手紙や短歌には、絶望に直面してもなお、家族や恋人への愛、短歌への情熱と共に生きたその揺るぎない足跡が刻まれていた…。圧倒的な人間賛歌。生きるとは？死ぬとは？家族とは？

はじまりのはじまりのはじまりのおわり

作＝アヴィ



かたつむりのエイヴォンは本が大好き。本の中ではいろんな生き物たちが冒険をくりひろげ、そして冒険を終えたみんなはとても幸せそう。エイヴォンはアリのエドワードとともに「冒険を探すための冒険」の旅に出ます。数々の不思議なできごとに出会いながら、枝の上のゆかいな冒険はゆっくり続きます。



海賊とよばれた男

作＝百田尚樹

太 太平洋戦争敗戦直後の8月17日、岡鐵造は東京の本社に残っていた60名の社員を集めて訓示を行った。「愚痴をやめよ」「誇りを失ってはならない。すべてを失おうとも、日本人がいるかぎり、この国は必ずや再び立ち上がる日がある」戦争で何もかも失い、

残ったのは借金のみ。その上、石油会社大手から排斥され売油もない。しかし岡商店は社員ひとりたりとも餓死せず、様々な方法で糊口をしのぎながら、たくましく再生していく。岡商店が海賊とよばれた理由とは…。主人公のモデルは出光興産の創業者である出光佐三です。



だいすきひゃっかい

作＝村上 しいこ

お そとくらくくおふとんもしいてあるけど、ねむくない。はるなはお母さんになぞなぞを出しました。「ねるまえに、はるながいくのはどこか？」おふとんに入る前の母と子のほのぼのとしたおしゃべりが楽しく広がって

いきます。そして、はるなが一番いきたいところは、とっても素敵な子どもが大好きな場所。子どもだって大人だって一日いろいろあるけれど、こんな幸せな気持ちで眠りに付いたら、きつといい夢をみられそうです。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。

6月は「素適な本と出会ってほしい」をテーマに2冊の本をご紹介します。

紹介者は石松一葉さん(鞍手町文庫連絡会)です。





最近よく慢性腎臓病（CKD）という言葉を目にするのですが、何ですか？（62歳・男性）

【慢性腎臓病とは】

慢性腎臓病は、数あるさまざまな腎臓病の総称でCKDと呼ばれています。現在、国民の8人に1人が、慢性腎臓病と考えられています。つまり、慢性腎臓病は「新しい国民病」といわれ、誰でもなりうる身近な疾患群に位置づけられます。

【慢性腎臓病の状態】

では、具体的には、どういった病態が慢性腎臓病というのでしょうか。状態としては、次のようなものがあります。

- ① 腎臓の働きが健康な人の60%未満に低下する
- ② 蛋白尿が出るなどの腎障害が3か月以上持続する

しかし、これらは簡単な検査で診断可能です。

検査項目には、次のようなものがあります。

- ① 検尿による尿蛋白、尿潜血の有無
 - ② 血液検査で血清クレアチニン（血清クレアチニンと年齢と性別で、推定糸球体ろ過量・eGFRが推定でき、これによって腎臓の働きの程度がわかります。）を測定
- 以上の検査で異常があれば慢性腎臓病の診断となります。

【腎臓の機能】

腎臓の機能というのは、一旦機能低下が起こると多くは元には戻りません。機能低下が持続すると、将来的には、人工透析が必要となってくるのです。また、慢性腎臓病は、末期腎不全（人工透析が必要な病態）

のリスクファクターであるだけでなく、脳梗塞や心血管病変（狭心症や心筋梗塞）になりやすくなることから、わかっていきます。このため、早期に、慢性腎臓病かどうかを診断し、適切な投薬や生活習慣の改善をすることが重要になります。

慢性腎臓病になりやすい人としては、高齢者、高血圧や糖尿病や肥満などの生活習慣病やメタボリックシンドロームがある人、過去に心臓病や腎臓病になったことがある人、家族に腎臓病の人がいる人、健診などで蛋白尿が見つかったことがある人、タバコを吸う人などが挙げられます。

特にこのような状態に心当たりのある人は、早めに医療機関を受診されることをお勧めします。

柴田達哉さん・しばた たつや・平成11年産業医科大学病院を卒業後、同大学病院助教などを経て、平成25年4月よりくらて病院腎臓内科に勤務。日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会専門医、日本内科学会総合内科専門医・認定医

休日乳がん検診のお知らせ

くらて病院では、次のとおり休日乳がん検診を行います。

- とき 7月28日（日）午前9時から午後4時まで
- 対象者・定員 40歳以上の人・20人（隔年受診）
- 予約受付期間 7月16日（火）から26日（金）まで
- 料金 ①町内にお住まいの人は600円 ②乳がん検診無料クーポン券をお持ちの人は無料③生活保護受給者の人は無料（診療依頼書を持参してください）
- その他 対象年齢でない人や料金の①～③に該当しない人は別途お問い合わせください。
- 問い合わせ くらて病院 ☎42-1231

検査は女性技師が
担当します



乳がん検診はくらて病院で！！

くらて病院では、2月末日まで乳がん検診ができます。

- 対象者 40歳以上の人（隔年受診）
- 検査内容 マンモグラフィ検査・乳腺エコー検査・触診（希望者とクーポン券持参の人のみ）
- 料金 上記と同様
- 申し込み・問い合わせ 平日の午前9時から午後3時までに電話または窓口にて申し込みください